

# 最近の管内経済概況

(2025年2月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの兆しがみられる。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

2025年4月18日

照会先： 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L： 011-709-2311 内線 2525

E-mail： bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2025年4月現在)

発表月	2024年11月	12月	2025年1月	2月	3月	4月	前月との判断比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している(↗)	緩やかに持ち直している	→
生産活動	一進一退ながら弱含みとなっている	持ち直しの兆しがみられる(↗)	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	→
個人消費	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している(↗)	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	→
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善が続いている(↗)	改善が続いている	→
公共工事	減少した(↘)	減少した	増加した(↗)	増加した	増加した	減少した(↘)	↘
住宅建設	低下している	低下している	持ち直しの兆しがみられる(↗)	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	→
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	→
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	↘

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正    → 据え置き    ↘ 下方修正

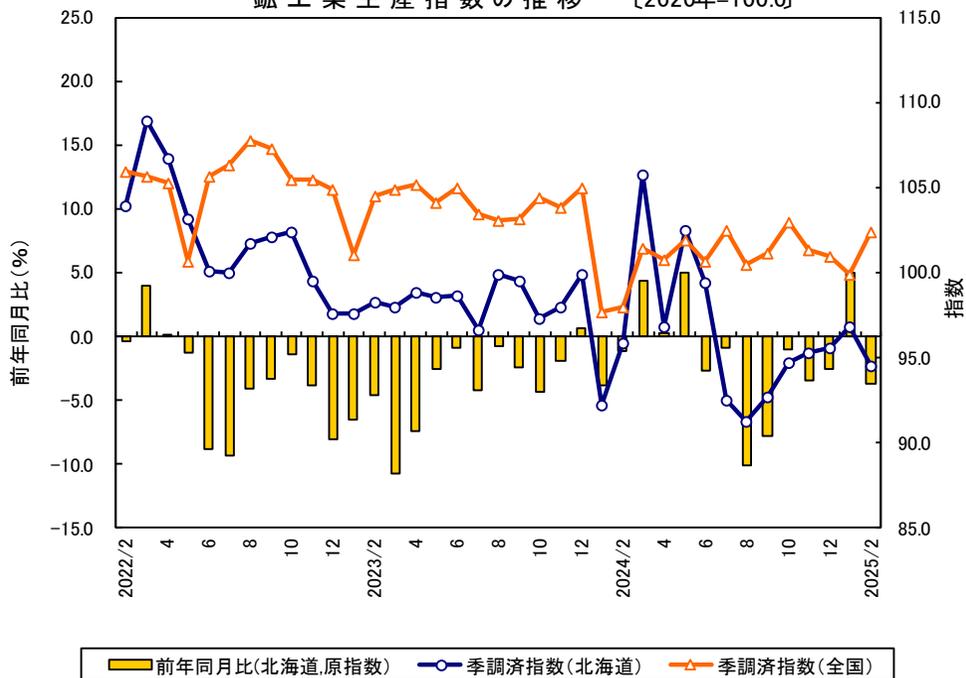
# 生産活動 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

2月の鉱工業生産は、前月比▲2.4%と6か月ぶりに低下した。前年同月比は▲3.7%と2か月ぶりに低下した。低下業種は、一般機械工業など7業種となった。上昇業種は、鉄鋼・非鉄金属工業など6業種となった。

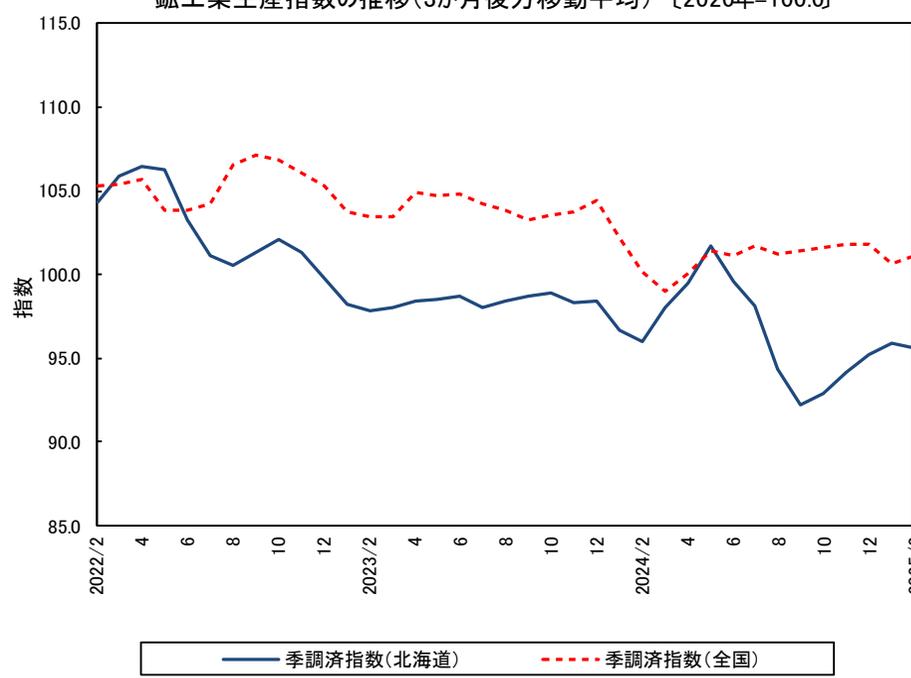
<2月>  
 季節調整済指数  
 北海道（速報） 94.5（前月比▲ 2.4%）  
 全国（速報） 102.4（前月比+ 2.5%）

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 7業種	一般機械工業	▲ 32.7	▲ 23.3	一般機械
	窯業・土石製品工業	▲ 9.4	▲ 11.0	セメント・同製品
	輸送機械工業	▲ 6.4	+ 27.0	自動車部品
上昇 6業種	鉄鋼・非鉄金属工業	+ 6.0	+ 2.0	鋼材

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



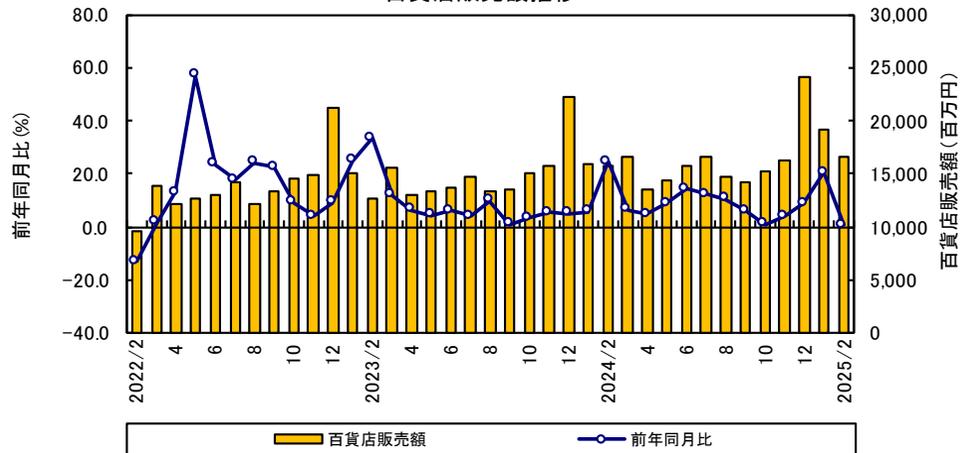
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 一部に足踏みが見られるものの、緩やかに改善している ～

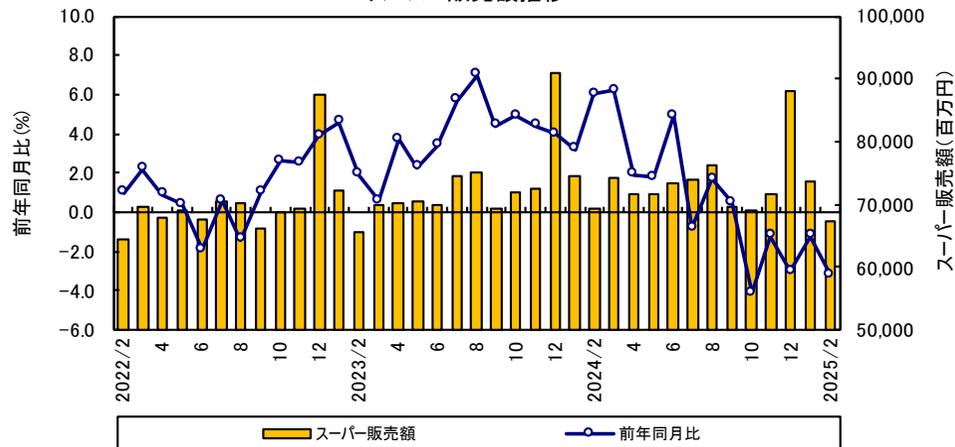
2月の個人消費は、スーパー、家電大型専門店、ホームセンターが前年を下回ったものの、他の4業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品や化粧品などの売上げが好調で、前年同月比+5.5%と36か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、前年のうるう年の反動による営業日数の減少などから、同▲3.2%と5か月連続で前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+1.0%と5か月連続で前年を上回った。

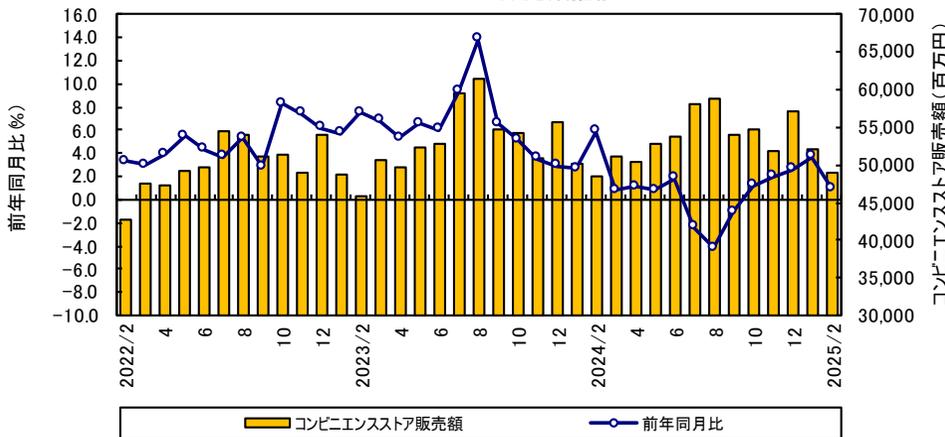
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



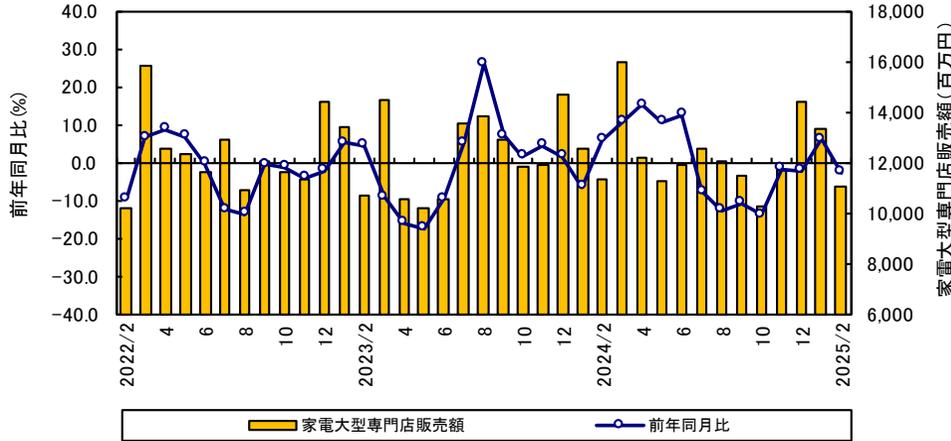
【ヒアリング内容】

- ・春節の時期ずれにもかかわらず、インバウンドの客数は増加し、高級ブランドの商品や化粧品の売上げが好調だった。（百貨店）
- ・前年がうるう年だったことから営業日数が1日少ない影響を受けたほか、地域によっては大雪による影響から客数が減少した。プライベートブランドの商品や低単価の商品の売上げは好調だった。（スーパー）
- ・前年がうるう年だったことから営業日数が1日少ない影響はを受けたものの、値上げの影響や札幌市内や観光地の売上げ増加により、売上げは前年を上回った。（コンビニエンスストア）

(資料：北海道経済産業局)

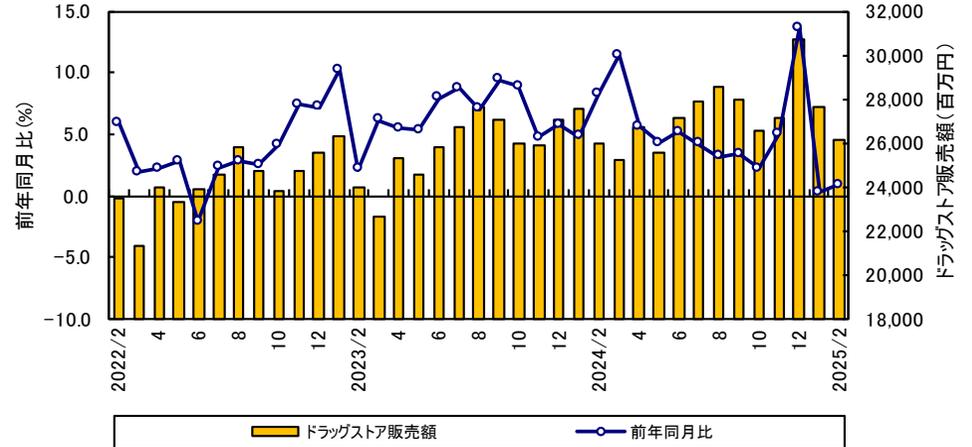
- ・家電大型専門店は、同▲2.5%と2か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは、同+0.9%と32か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲3.7%と5か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+14.1%と2か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



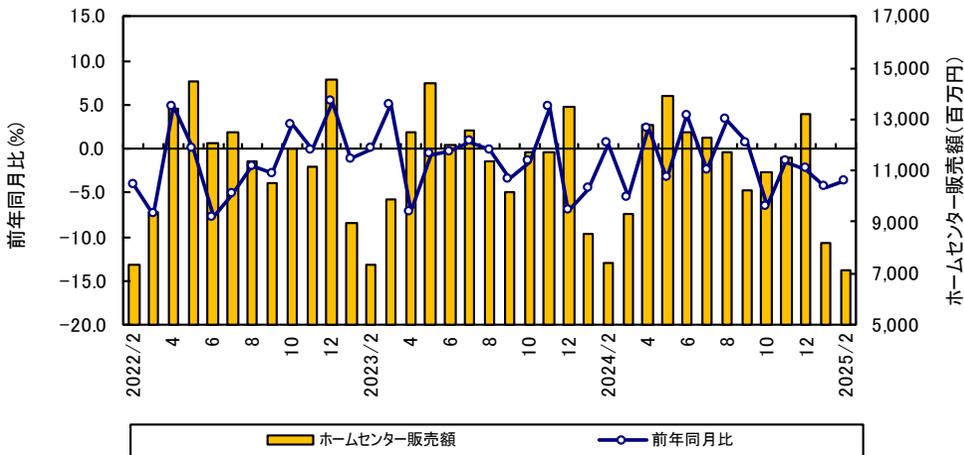
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

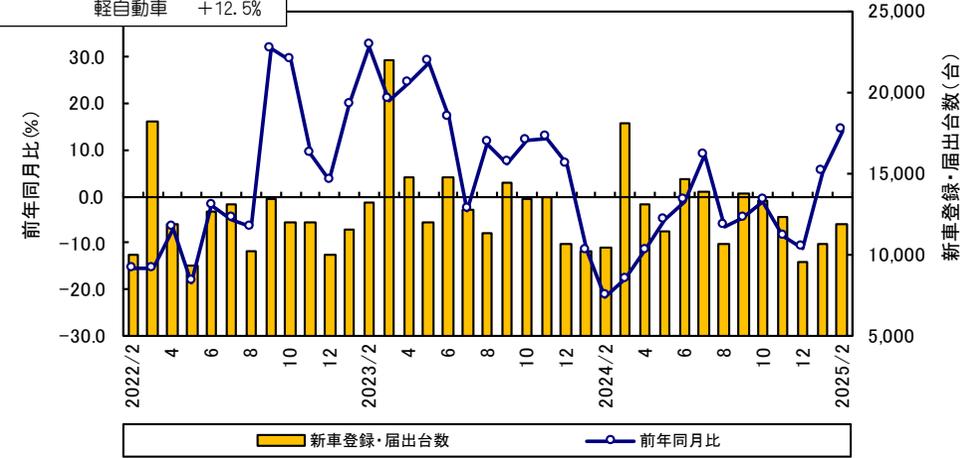
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<2月>	普通乗用車	+16.7%
	小型乗用車	+11.5%
	軽自動車	+12.5%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

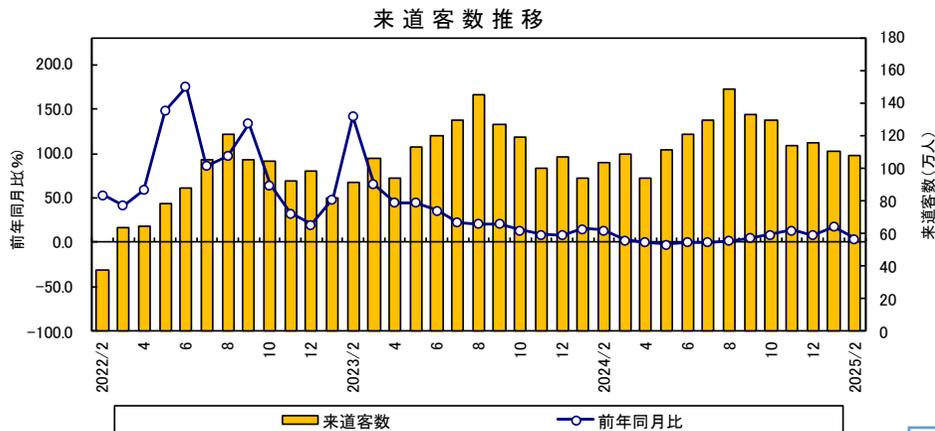
【ヒアリング内容】

- ・前年がうるう年だったことから営業日数が1日少ない影響を受けたほか、地域によっては大雪の影響から客数が減少した。また、前年売上げをけん引していたエアコンの反動減は引き続きみられた。(家電大型専門店)
- ・国内外問わず、アジアンコスメや乾燥対策商品など化粧品の売上げは好調が続いている。(ドラッグストア)
- ・前年がうるう年だったことから営業日数が1日少ない影響を受けたほか、地域によっては大雪の影響から客数が減少した。また、低単価の商品への移行がみられた。(ホームセンター)

# 観光 ～改善が続いている～

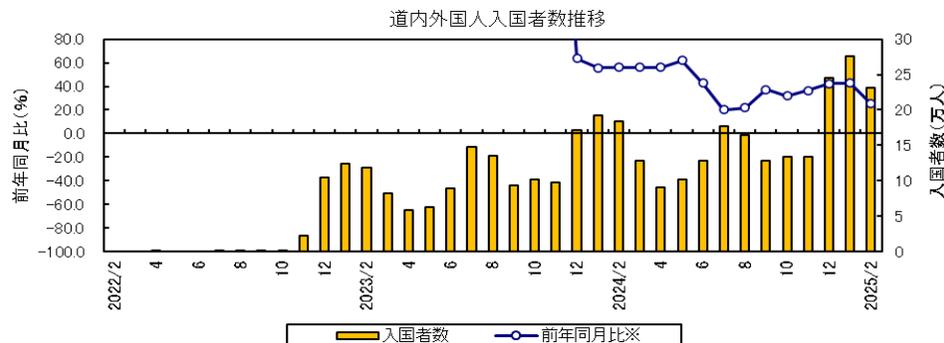
2月の来道客数は、前年同月比+4.3%と9か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+25.2%と32か月連続で前年を上回った。

<2月> 入国者数 230,889人(+25.2%)



<2月> 来道客数 1,081,645人(+4.3%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料:(公社)北海道観光機構)

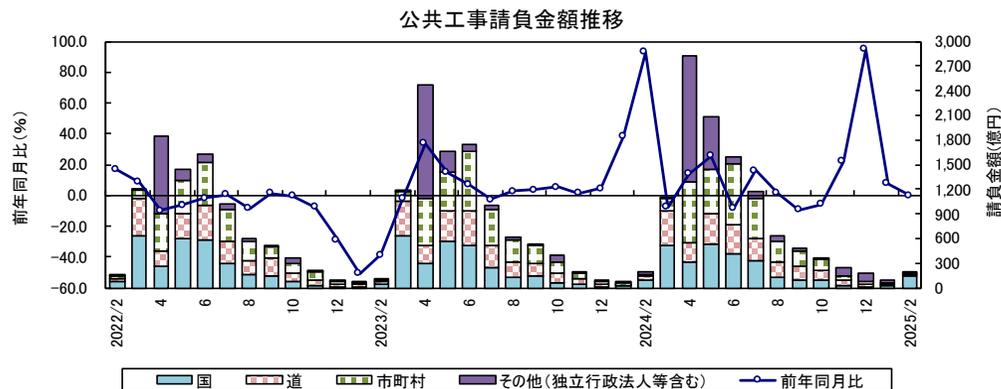


(資料:法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7~11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していません。

・イベントを実施したほか、インバウンドが好調で、宿泊数は前年に比べ1割ほど多かった。春節時期のため、中国からの観光客が多くみられた。(観光協会)

# 公共工事 ～減少した～

2月の公共工事請負金額は、国は前年を上回ったが、道、市町村、その他は前年を下回り、前年同月比▲0.1%と4か月ぶりに前年を下回った。



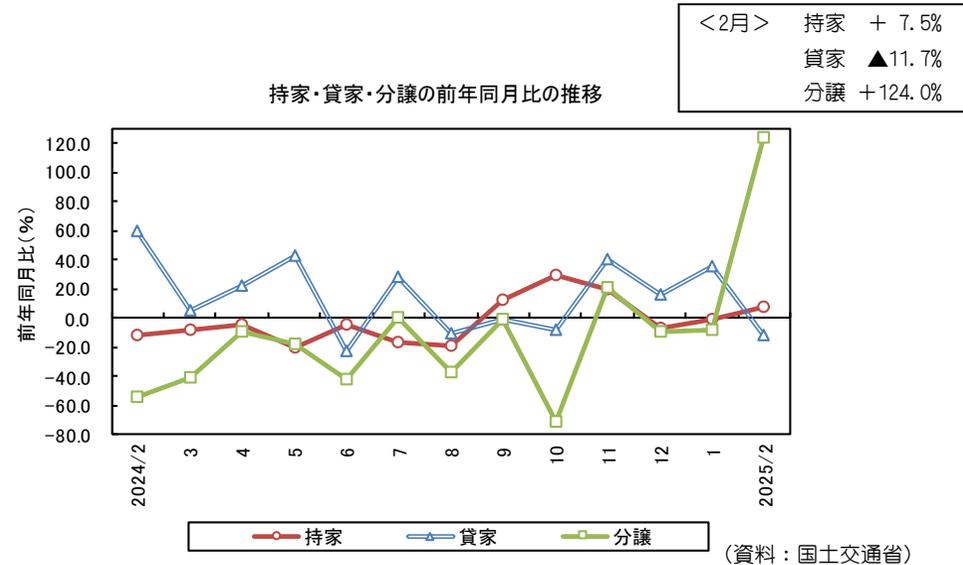
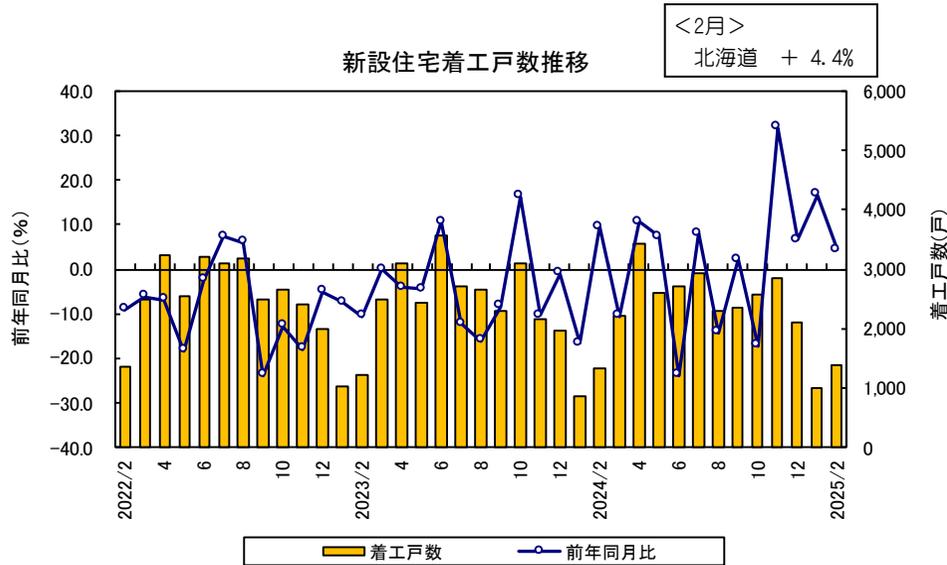
<2月>  
 北海道 ▲0.1%  
 (内訳)  
 国 +43.1% 道 ▲49.8% 市町村 ▲8.1% その他 ▲70.8%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料:北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

2月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を下回ったが、持家、分譲は前年を上回り、前年同月比+4.4%と4か月連続で前年を上回った。



# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+24.7%と3年連続で前年度を上回った。  
なお、2025年度は前年度を下回る計画となっている。

## 日銀短観の設備投資動向

2025年4月1日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 24.7%	▲ 7.8%
製造業	+ 26.2%	▲ 6.2%
非製造業	+ 24.1%	▲ 8.6%
全国	+ 8.1%	+ 0.1%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年3月12日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	+ 5.0%
製造業	+ 19.6%	▲ 4.9%
非製造業	+ 15.2%	+ 13.0%

※数値は対前年比増減率。

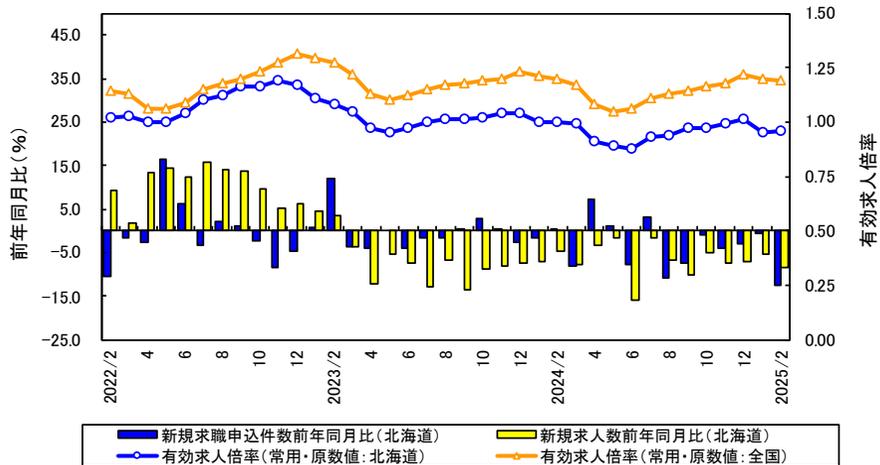
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～弱含んでいる～

2月の有効求人倍率は、0.96倍と前年同月差0.04ポイント低下し、23か月連続で前年を下回った。

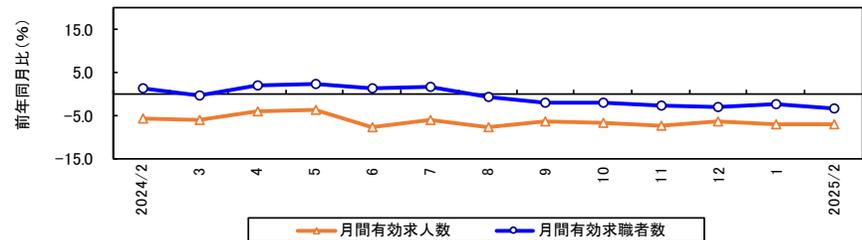
有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



<2月>	
北海道	有効求人倍率(常用・原数値) 0.96倍 新規求人件数(前年同月比) ▲8.4% 新規求職申込件数(前年同月比) ▲12.5%
全国	有効求人倍率(常用・原数値) 1.19倍

<2月>	
月間有効求人数(前年同月比)	▲6.9%
月間有効求職者数(前年同月比)	▲3.2%

月間有効求人数・月間有効求職者数の推移

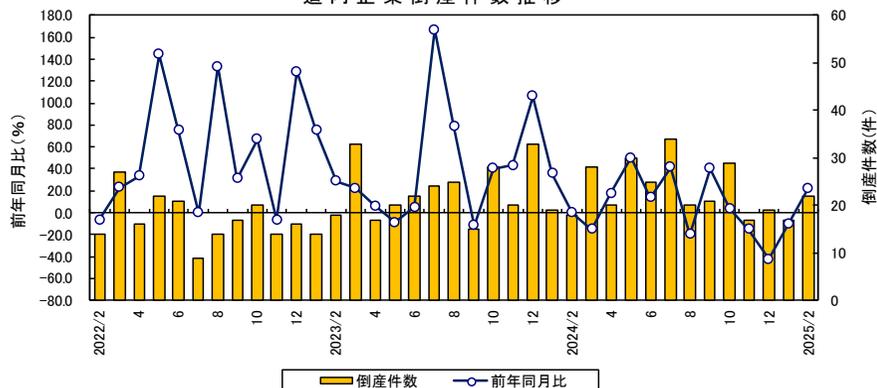


(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

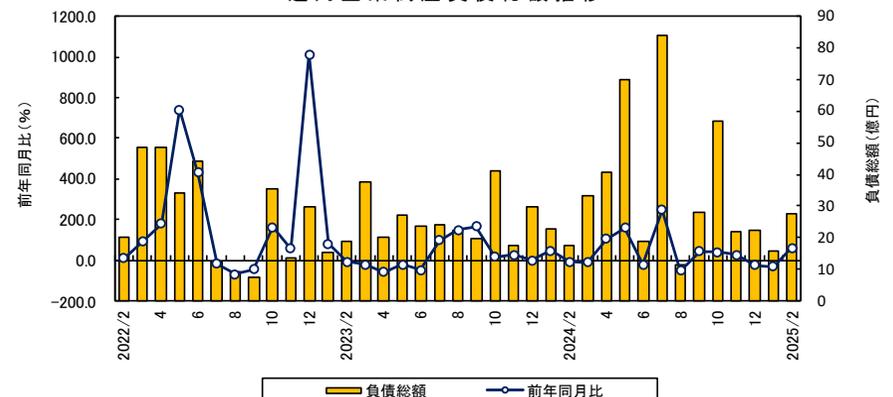
# 企業倒産 ～件数、負債総額とも増加した～

2月の倒産件数は22件で、前年同月比+22.2% (4件増) と4か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は27.7億円で、同+59.4%と3か月ぶりに前年を上回った。

道内企業倒産件数推移



道内企業倒産負債総額推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)